氷見市地域おこし協力隊
活動報告

令和８年 ９月

第11期　まちなか復興支援員　国本春樹

自己紹介

国本 春樹 | Haruki Kunimoto



History

2001 | 東京都 日野市 生まれ

2020 | 東京都立大学　　建築学科入学

2026 | 東京都立大学大学院　建築学域卒業

2026 | 富山県氷見市地域おこし協力隊 11 期

Hobby

建築巡り・映画鑑賞・野球観戦

活動場所　富山県氷見市中央町（商店街）



富山県氷見市中央町


△氷見市中央町商店街


△黒瓦の伝統的な街並み

活動内容



築60年近くとなる中央町商店街の
シンボルである防災街区（ビル）が、
令和6年能登半島地震の影響で
公費解体されることが決まった。

・地域での話し合いを通し復興まちづくりに向けたイメージを作成していく

・商店街跡地の具体的な活用や、イベントの計画、植栽の管理などを行う

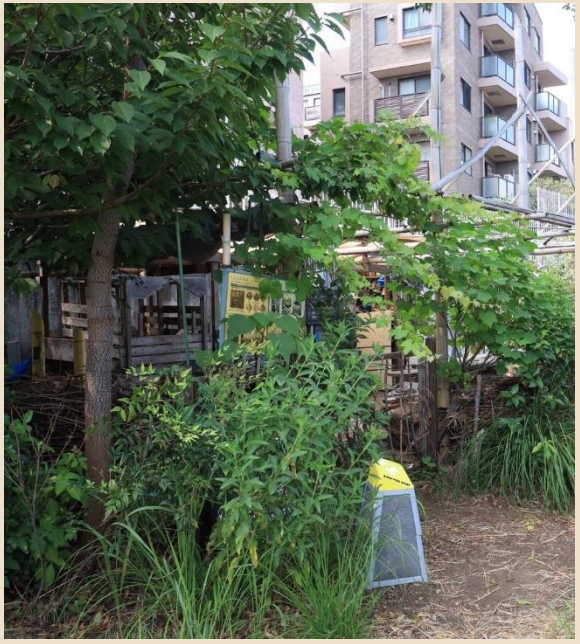
・跡地だけでなく中央町全体のまちづくりの活動を協力して行う





活動内容







跡地活用に向けた事例調査と資料作成

空地の活用をしている団体や事例の調査を行い共有する

復興会議などで使用する図などの作成をソフトを用いて行う

活動内容







中央町商店街の解体範囲周辺の模型作成

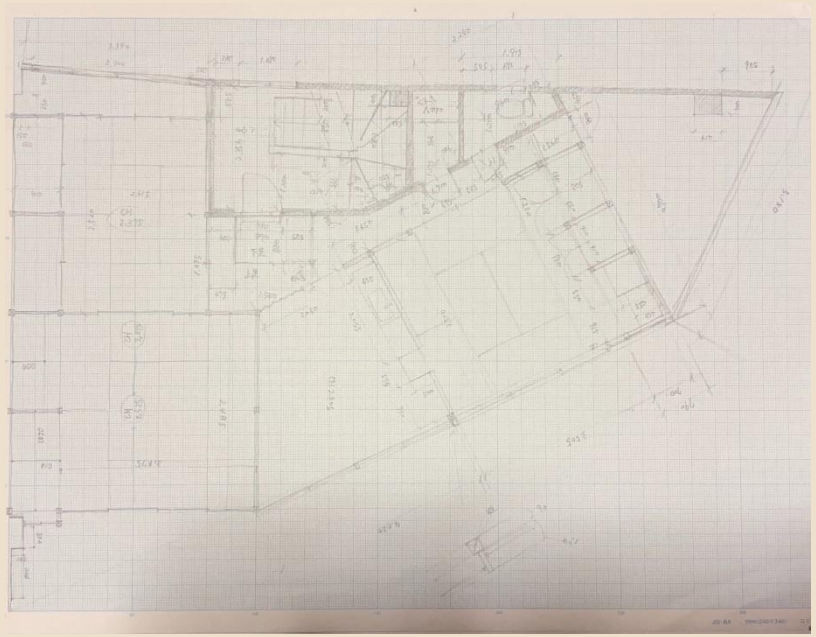
商店街の防災街区解体後のイメージができるように模型の作成を行う

これらの模型を用いて、今後跡地の活用を具体的に進めていく

活動内容







中央町商店街防災街区の実測調査

公費解体予定の防災街区は RC(鉄筋コンクリート造) の建物の後ろに木造の建物が存在する

実測を行い図面の作成を行い、ヒアリング調査などを通して当時の生活などを記録する

活動内容







循環型復興の実践・古材の回収と活用

中央町商店街公費解体予定の建物や氷見市を中心に古材レスキュー・活用行っている

復興まちづくりの過程で古材だけでなく地域資源の循環を促す

活動内容







個人活動　地域の行事への参加

地域おこし協力隊の活動だけでなく移住をした氷見市を全力で楽しみ、学ぶ

地域行事への参加や、被災地への復興状況の見学などを行った

活動の中で感じたこと

・地域のコミュニティにおける祭りなど行事・歴史の重要性
　世代間交流や、文化の継承、共同体としてのあり方

・建物がなくなるということへの不安への対応
　⇒解体される過程やその後の維持管理、活用に対する先行き

・中央町商店街アーケードが今後どうなっていくのかも心配

・自分のまちづくりに対する知識や経験の少なさを感じる

今後の活動計画

・地域の方、地権者の方へのヒアリング調査

　昔の様子や、今考えていることなどを知りたい

・調査した内容のアーカイブ化

　記録として後世に伝えることと、今後の復興へ役立てる

・跡地活用のイメージを検討していく

・模型などを用いて、イメージを具体的に共有できるようにする

・各種イベントの計画などをしていく